

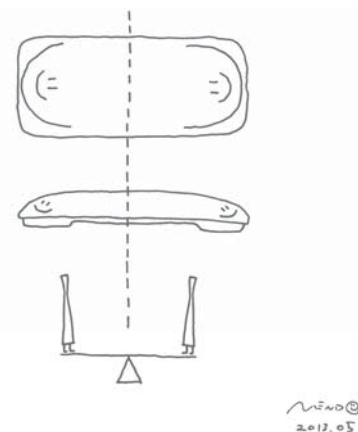
SYMMETRICKの特長



カーキャリア・ブランド「Terzo」のブランドリニューアルに伴ってデザインされたルーフボックスです。従来のルーフボックスは、いずれも車のフォルムを模することで「車体との親和性」や「疾走感」が表現されてきました。

それに対して、形状を前後左右ともに対称形 (=symmetry / シンメトリー) にすることで、Terzo ブランドが思い描く「スローライフ」や「親しみやすさ」を体現しながらも、車との一体感が生まれることを考えました。また、荷重がかかる底面に必要なリブ (補強用の凸凹) を、Terzo のロゴマークにちなんだドット状のものにすることで、見る角度によって車体の上面にロゴマークが写り込んで見えるという、さり気ない遊び心も表現しました。

さらに、前後方向が対称形のため、どちらを前にして取り付けても良く、それによって蓋が「右開き」にも「左開き」としても使用できるようになりました。



Designer Profile

佐藤オオキ / デザイナー、デザインオフィスnendo代表

1977年カナダ生まれ。2000年早稲田大学理工学部建築学科首席卒業。02年同大学院修士課程修了、同時にデザインオフィスnendoを設立。06年Newsweek誌「世界が尊敬する日本人100人」に選出され、12年Wallpaper誌(英)およびElle Deco International Design Awardにて「デザイナーオブザイヤー」を受賞。作品はMoMA(米)、ポンピドゥーセンター(仏)、V&A博物館(英)など世界の主要美術館に收藏されている。現在は東京、ミラノ、シンガポールを拠点に、世界中で250以上のプロジェクトが同時進行中。

近著に「ウラからのぞけばオモテが見える」(日経BP社)、「ghost shadows」(ADP出版)、「nendo 10/10」(Gestalten/独)など。

www.nendo.jp

